

入学式 式辞 31. 4. 8 全日制

桜の花が満開となって春を謳歌し、その花びらが名残惜しく散っていく中、入れ代わるように、本校のシンボルでもある銀杏が芽ぶき、若葉がさ緑に萌えなんとする春の佳き日に、愛媛県立松山南校高等学校 全日制課程の入学式を、多数の御来賓の皆様の御臨席を得て挙行できますことを心から感謝申し上げます。

ただいま、360名の皆さんの入学を許可いたしました。新入生の皆さんは、大きな希望と幾ばくかの不安を抱かれていますことと思います。不安は、一日一日と学校生活を送っていくうちに消えていくと思います。分からないことや困っていることは、口に出し、親身な先生や優しい上級生の皆さんに尋ねてみてください。必ずや親切に対応してさせていただきます。また、新しいクラスメートに声をかけてみてください。あいさつから人間関係が広がり、友情が育まれていくものです。南高は、温かい学校です。

さて、新入生の皆さん。本校の校訓を御存じでしょうか。本校の校訓は「自らを律せよ」です。

高校生活を送るうえで、またこれからの人生を歩むうえで、常に意識をしていただきたい言葉です。私たち教職員は、かなりの部分を生徒の皆さんの自主性と主体性に委ねています。ある意味で、自由の幅の大きい学校です。皆さんが「自らを律する」であろうから、服装や行動など、細かなことまでは言及しません。しかし、皆さんの先輩たちは自覚をもって服装を整え、良識ある行動をとってきました。細かな校則がなくとも、なぜ、このように一定の品性を保てるのか。それは、教職員と生徒の皆さんとの間に、「信頼」があるからです。私たち教職員は、生徒の皆さんを心から信頼しています。そして、生徒の皆さんもそのような先生方に素直についてきてくれます。その結果、勉学においても部活動においても、学校行事においても、県下有数の成果を出すことができているのです。そして、大人になっても各界のリーダーとして活躍されているのです。

皆さんが、これから過ごしていく学び舎は、本校のシンボルである銀杏の木に囲まれ、季節の移ろいととともに、早緑から黄色へと染められていき

ます。そこで学んだ先輩たちは、青春の汗と涙を流しながら、日一日と大人への階段を上っていきました。皆さんもまた同じように、この南高で成長し、大人になっていきます。「自らを律せよ」の校訓のもと、自由でのびのびとした高校生活を送り、卒業するまでには、自分の「志」を果たすための基盤をしっかりとつくって、大きく羽ばたいて行ってください。「南高」で得た友達は、かけがえのない「一生の宝物」です。心通わせる友がいて、優しく時には厳しく支え導いてくださる先生がいて、温かい居場所のある学校、それが「南高」です。

卒業に際して、3年間を振り返ったとき、120有余年の歴史と伝統を有する、この南高で過ごした日々が、本当に満足のいくものであり、かけがえのない思い出があふれてくるように、どうか、自分らしく、何をしたいのかを考えて、南高生活を楽しんでいただきたいと思います。

保護者の皆様、本日はおめでとうございます。お子様の晴れの日を迎えられて、お喜びもひとしおのことと存じます。私ども教職員一同、大切な

お子様をお預かりします以上は、南高に来てよかったと思って卒業していただけるよう、力の限り教育に当たりたいと考えておりますので、どうか、家庭と学校が車の両輪となってお子様の成長を支えることができますよう、連携・協力をお願いいたします。

銀杏の若葉は、やがて黄色く色づく、実りの時をめざして、季節の移ろいの中で、これからさらに生長していきます。皆さんも、青々と葉を茂らせる銀杏の葉のごとく、どんどん成長し、自分の志を果たすため、心を耕し、言葉を磨き、この南高でかけがえのない自分を作り上げていかれることを切に願って式辞といたします。

平成三十一年四月八日

愛媛県立松山南校高等学校

校長 染田 祥孝